

伊藤武雄 いとうたけお ドイツ文藝翻譯家。明治二十八年四月九日神奈川縣生  
れ。昭和四十六年二月二十四日歿（一九五二—一九七二）。大正七年東京帝國  
大學文科大學獨文科卒。第四高等學校、金澤大學、桃山學院大學各教  
授兼任。

譯書 『シエニッツレル短篇集』（ブルタ・ガルラン夫人）（大正十年七月五日岩波書店）、『獨和對譯『ゲエテ短篇集』（譯註、大正十二年四月五日郁文堂書店）、『郁文堂對譯叢書』、『ゲエリング作『海戰』（大正十二年五月五日金星堂）、『先驅藝術叢書』、『コストリンドベルク小説全集・第四卷—不和・孤獨』（大正十二年九月十七日新潮社）、『エレンスト・トルレル作『群衆人間』（大正十二年十月十日金星堂）、『先驅藝術叢書』、『グリルパルツエル作『悲劇ザツナオー』（大正十五年十一月五日岩波書店）、『獨逸文學叢書』、『岩波文庫』、『シエトルム作』、『芭董・溺死』（昭和十年十一月十五日、ワイエル作『潛の婚禮』（十一年七月二十日、フォンターネ作『迷路』（十二年二月十日、ラーベ作『雀橋』年代記』十一月十五日、ケラー作『縁のハインリヒ』全四冊—一・十四年二月一日、二・二月十五日、三・十五年二月一日、四・十六年四月十五日、改訂—一・四十四年十月十六日、二・十一月十七日、三・十一月十六日、四・四十五年二月十六日、シエニッツラー作『ペルタ・ガルラン夫人』十五年五月七日、マイエル作『聖者』十七年五月十日、同『タンシエラ』ホルツヤ』二十四年六月、二十日岩波書店）、『シエニッツラー作『賢者の妻』（昭和二十四年一月二十一日東京綜合出版社）等。

著書 『うちとごと』（昭和二十一年十一月二十日石川・白山書房）、

四百四十四

(昭和四十四年十月) 千石川・北国出版社) 等。